




花 6月～9月	アカバナ科	
アレマツヨイグサ		
<p>花期は6～9月、道端、荒地に生育し、花色は黄色である。</p> <p>北アメリカ原産の帰化植物で、この仲間の中で一番繁殖力が強く、先に渡来していたマツヨイグサやオオマツヨイグサを追いやって勢力を広げた結果、今ではいたるところで見える事ができます。</p> <p>そして花びらの間に隙間があると、アレマツヨイグサといい、ないものをメマツヨイグサと言って区別する。</p>		
花 7月～8月	ヒルガオ科	
ヒルガオ		
<p>アサガオ同様朝開花するが昼になっても花がしぼまないことからこの名がある。</p> <p>つる性の多年草で、地上部は毎年枯れる。春から蔓が伸び始め、夏にかけて道ばたなどに繁茂する。夏に薄いピンク色で直径5～6cmの花を咲かせる。花の形は漏斗形。苞葉が萼を包み込むので、帰化植物のセイヨウヒルガオと区別できる。</p>		
花 7月～9月	バラ科	
キンミズヒキ		
<p>高さ0.5～1.5メートル。全体に毛があり、根茎は太い。葉は羽状複葉、小葉は大小からなる。頂小葉は菱(ひし)状長楕円(ちょうだえん)形で先はとがる。7～9月、茎の先に総状花序をつけ、径5～10ミリメートルの黄色の5弁花を花序の下から上に次々に開く。果実は瘦果(そうか)で萼筒(がくとう)に包まれ、萼筒は果実時に約3ミリメートルの鉤(かぎ)状の刺(とげ)があり、これにより果実の散布を行う。</p> <p>名は、植物体がミズヒキに似ており、花が黄金色であることによる。</p>		